

## 議事要点

会議名称	令和5年度 第6回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和6年1月17日（水） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 302 会議室
次第	1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について 2 立川市国民健康保険第3期データヘルス計画（素案）について 3 その他
配布資料	<b>【資料】</b> ・資料1 立川市国民健康保険の現状（確定計数版） ・資料2 諮問に対する意見
出席者	[委員] 被保険者代表（5名） 田尻 隆子 西村 徳雄 萩原 幸夫 宮本 直樹 山田 廣幸 保険医及び保険薬剤師代表（4名） 五十嵐 弥生 平田 俊吉 森谷 健一 石原 一生 公益代表（5名） 頭山 太郎 山本 みちよ 浅川 修一 黒川 重夫 木村 辰幸 被用者保険等保険者代表（1名） 大塚 智廣 [事務局] 副市長 田中 良明 保健医療担当部長 浅見 知明 保険年金課長 横田 昌彦 健康づくり担当課長 佐藤 良博 保険年金課業務係長 小安 裕史 保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美
公開及び非公開	公開
傍聴者数	1人
会議結果	1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について 事務局より資料1と資料2を説明。資料1で、国より国民健康保険事業費納付金の算定に係る確定計数が示され、立川市の納付金額、法定外繰入金額が変更となったことを説明。国民健康保険事業費納付金は、令和6年度の額が仮計数時56億1,741万円だったものが、確定計数では55億7,022万円となり、約4,719万円の減。法定外繰入金は、令和6年度の額が仮計数時15億1,223万円だったものが、確定計数では14億5,745万円となり、約5,478万円の減。 資料2は、前回の運営協議会における諮問に対する委員からの意見をまとめたもの。 その後、意見を踏まえた答申（案）を事務局で作成し、委員へ示す。

	<p>立川市の国民健康保険事業において、令和6年度の保険料率は、前年度に引き続き据え置き。賦課限度額については、国の引き上げに合わせ、後期高齢者支援金分を2万円引き上げることとした。財政健全化計画については、第3次行政経営計画と開始年度を合わせ、一般会計の繰出金（歳出）と国保会計の法定外繰入金（歳入）の両面から検討し、赤字削減額及び解消年度を決定する。策定年度は6年度中で、開始年度は令和7年度。未就学児の均等割の市の独自減免については、国の制度に基づき5割軽減されている未就学児の均等割について、令和6年度以降、残りの5割分を市で独自に減免を行う。</p> <p>2 立川市国民健康保険第3期データヘルス計画（素案）について</p> <p>1月22日から1月15日の間でパブリックコメントを行い、1件あった意見について報告。医療費の疾病別構成で、「筋・骨格関連疾患」が大きな部分を占めていることから、対策として、「整体・はり・きゅう」などを取り入れる等、「統合医療」の取組が必要。健診をなぜ受診しないのか、その理由を把握するべきという2点の意見があった。「統合医療」については、現段階でデータヘルス計画に盛り込むことは考えていないが、他課と連携し、健康づくり事業を進める中で、「筋・骨格関連疾患」を予防する取組を検討していきたい。「健診未受診の理由」については、成果連動型特定健康診査受診率向上事業の効果検証を踏まえて、アンケート等の実施を検討していきたいと事務局より回答。</p> <p>パブリックコメントが1件と少ないことについての質問に対し、今回、立川市動画チャンネルに計画についての解説動画を載せ、想定していた回数より多くの方に見ていただいたことで、第3期データヘルス計画では、特定健診の受診率の向上を図り、各種保健事業に適切につなげていくことを理解していただけたと思っていると事務局が回答した。</p> <p>3 その他</p> <p>第3期データヘルス計画（素案）への様々な意見等は、3月に公表する計画原案において反映し、3月上旬に委員に郵送する。令和6年度の第1回目の運営協議会は5月の中旬に開催を予定しており、令和6年度予算についてなどの報告を予定していると事務局より連絡。</p> <p>令和6年度は、財政健全化計画を取りまとめる必要がある。国民健康保険が置かれた本当に厳しい状況の中で、財政健全化計画をまとめていくことは、非常に難しい議論になると考えている。引き続き委員の皆様との率直な議論をいただき、よりよい答えを導き出していただけることを願うとの会長からの言葉で会議を終えた。</p>
担当	<p>福祉保健部保険年金課 電話 042-528-4314</p>